

# 実施事業等会計の部

I 講座セミナー・育成

## ①指導者研修事業

### 1 市町村老連会長・事務担当者会議

「戦後世代が大量に高齢期を迎え、人々の意識も多様化する中で、老人クラブは何をすべきか、進むべき道は何か」を協議研究する

開催日 平成24年12月13日から平成24年12月14日

会場 住吉屋

参加者 81名

会議内容 [1日目]

(1)講演「老人クラブ組織の必要性と、地域の中での老人クラブの役割」

新潟医療福祉大学副学長 丸田秋男

(2)意見交換

[2日目]

(3)会員加入推進月間(平成24年9月)顕彰

(4)事務局説明

県老連事務局長 高橋誠

(5)専門部会報告

### 2 市町村老連リーダー研修会

県下の各市町村老連リーダーの男女がそれぞれの会場に会し、老人クラブのあり方、組織・体制の強化など進むべき道について研修を行う

開催日 平成24年7月20日(上越地区)、平成24年7月24日(中越地区)、平成24年7月27日(佐渡地区)、平成24年7月31日(下越地区)

会場 直江津学びの交流館(上越地区)、越路総合福祉センター(中越地区)、佐渡中央会館(佐渡地区)、新発田市地域交流センター(下越地区)

参加者 173名(上越地区36名、中越地区47名、佐渡地区64名、下越地区26名)

研修内容 「楽しい老人クラブのあり方とは」をメインテーマに研修を実施

(1)事務局報告「県老連の現状と課題について」 県老連事務局長 高橋誠

(2)事例発表(「老人クラブの活性化対策について」をテーマに)

・上越市老連春日山寿会副会長 荒井隆

・長岡市老連三島支部上岩田おもしろ南瓜愛好会会長 小林藤夫

・佐渡市赤泊地区老連会長 石川正市

- ・新発田市老連副会長兼上本田寿クラブ会長 田村光雄
- (3)出席者全員から一言ずつ発言
- (4)グループ討議(各グループ6名程度で討議)
- (5)全体会

---

### 3 全老連セミナー

全国社会福祉協議会(健康づくり中央セミナーのみ、中央福祉学院「ロフォス湘南」)を会場に、1泊2日(健康づくり中央セミナーは2泊3日)の日程でセミナーを開催

---

#### 第30回都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央セミナー

中心的リーダー、若手リーダーを対象に、これからのクラブづくりをテーマに開催

開催日 平成24年6月7日から平成24年6月8日

参加者 川崎悌吉(県老連副会長・村上地域老連会長)

---

#### 第24回老人クラブ女性リーダーセミナー

クラブづくりにおける女性リーダーの役割をテーマに、次代を担うリーダーの育成をはじめ生活モニター活動の充実に向け話し合う

開催日 平成24年11月8日から平成24年11月9日

参加者 秋山邦子(県老連女性文化部会委員・上越市老連副会長)

---

#### 第18回「在宅福祉を支える友愛活動」セミナー

会員をはじめ地域の一般高齢者とともに、誰もが笑顔で暮らしていける地域づくりをめざして研究、協議を行う

開催日 平成25年1月17日から平成25年1月18日

参加者 佐野佐平治(見附市老連副会長)

---

#### 第10期健康づくり中央セミナー

「健康をすすめる運動」の一層の推進をはかるために、各都道府県等における健康づくりの事業や活動に対する協力者(健康づくり推進員)を養成する

開催日 平成25年1月23日から平成25年1月25日

参加者 金子修(長岡市老連事務局長)

---

## I 講座セミナー・育成

### ②研修事業

---

#### 1 市町村老連女性代表者会議

県老連事業及び市町村老連事業について相互の連絡提携及び女性の立場からの事業の推進と組織の強化を図る

〔第1回〕

開催日 平成24年7月2日

会場 新潟ユニゾンプラザ

参加者 64名

- 会議内容 (1)報告「全老連女性委員会総会報告」 県老連女性文化部会委員長 加藤幸子  
(2)事務局説明「県老連の現状と課題について」 県老連事務局長 高橋誠  
(3)講義「女性部の役割～熟女力を活かそう～」 県老連会長 大野一伊  
(4)事例発表「女性部を立ち上げました」  
長岡市老連栃尾支部女性部部长 藤井祥子  
(5)グループ討議「私たちの“熟女力”どう活かす？～女性が変われば組織が変わる、地域が変わる～」をテーマに

〔第2回〕

- 開催日 平成24年11月1日  
会場 直江津学びの交流館  
参加者 43名  
研修内容 (1)報告「県内女性部の活動状況」 県老連女性文化部会委員長 加藤幸子  
(2)講義「相手の心をつかむ会話術」 フリーアナウンサー 菊野麻子  
(3)事例発表「女性部発足に思う」 青海地区老連女性部部长 倉又京子  
(4)グループ討議「私たちが活躍しやすい“場”づくり～YES、NOカードであなたはどっち？～」をテーマに

---

## 2 市町村老連事務担当者会議

県老連事業の推進についての説明と打ち合わせのために開催

- 
- 開催日 平成24年5月30日  
会場 新潟ユニゾンプラザ  
参加者 25名  
会議内容 (1)平成24年度県老連実施事業について  
・平成24年度の事業方針について  
・県老連主催の大会・研修会・会議について  
・会員加入促進推進運動～プラス5人作戦について～  
・その他  
(2)その他

---

## 3 第41回全国老人クラブ大会

全老連創立50周年を記念して、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、内閣総理大臣・衆参両議院議長の御出席のもとで開催

- 
- 開催日 平成24年10月4日  
会場 日比谷公会堂(東京都千代田区)  
参加者 40名  
記念講演 「いま、日本に求められるもの」「歴史から学ぶ人間関係」 作家 堂門冬二  
表彰 (1)厚生労働大臣表彰者・団体  
・育成功労者表彰 丸山林松(元県老連会長)

- 保坂昭(前県老連副会長・前上越市老連会長)
- ・優良単位クラブ表彰 参賀長寿クラブ(妙高市老連)
  - ・優良老人クラブ連合会表彰 上越市老人クラブ連合会

(2)全国老人クラブ連合会会長表彰者・団体

- ・育成功労者表彰 大野一伊(県老連会長)  
佐藤忠(県老連評議員・村上支部老連会長)  
小林義雄(前田上町老連評議員)
- ・優良老人クラブ表彰 網代浜はまなすクラブ(聖籠町老連)
- ・優良郡市区町村老連表彰 津南町老人クラブ連合会

---

#### 4 関ブロ老人クラブリーダー研修会

活動の実績と成果を確認するとともに、高齢社会における活力ある地域づくりに向け、老人クラブリーダーの資質と教養の向上を図る

---

開催日 平成24年6月19日から平成24年6月20日

会場 大洗ホテル(茨城県東茨城郡大洗町)

参加者 8名

研修内容 [1日目]

- (1)基調報告 「老人クラブ50年—仲間づくりを原点に」 全老連参事 正立斉
- (2)分科会 第1分科会「仲間を増やす活動の展開」  
第2分科会「健康づくり・介護予防活動の推進」  
第3分科会「地域支え合い活動の推進」  
第4分科会「若手高齢者の力を活かす活動の推進」

[2日目]

- (3)表彰式 関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会会長表彰者
  - ・小林セツ(県老連評議員・村上支部老連副会長)
  - ・堀江順子(県老連評議員・三条市老連理事)
  - ・平澤ユリ子(県老連評議員・十日町市老連理事)
  - ・田巻敏(県老連評議員・田上町老連会長)
  - ・関谷今朝次(県老連理事・津南町老連会長)
  - ・山田公一(県老連副会長・上越市老連会長)
  - ・丸山淑子(県老連評議員・糸魚川地区老連副会長)

(4)分科会報告

- (5)講演 講師 宇宙航空研究開発機構(JAXA)  
宇宙科学研究所(ISAS)准教授 船木一幸  
演題 「宇宙開発の歴史と今後について」

## 5 関プロ女性リーダー研修会

平成24年度は全老連モニター活動「高齢者の『暮らしの支え合い』」調査を受けて提出された活動案について、自由に討議・情報交換を行った

開催日 平成24年8月31日  
会場 東京都高齢者研究・福祉振興財団「ウェルネスエイジ60」  
参加者 田中京子(県老連女性文化部会委員・長岡市老連長岡支部副会長)

### I 講座セミナー・育成

#### ③指導調整事業

### 1 専門部会の開催

本会事業を円滑に推進するために、研修・女性文化・健康推進・会員加入促進・地域ふれあい事業推進の5専門部会を設置。部会会場はいずれも新潟ユニゾンプラザ

#### 専門部会合同会議

開催日	参加部会	部会内容
平成24年 6月 4日	研修部会、女性文化部会、健康推進部会、会員加入促進部会、地域ふれあい事業推進部会、編集委員会	(1)事務局説明 (2)各部会での協議

#### 専門部会委員長会議・専門部会

部会名	回次および開催日	部会内容
委員長会議	平成24年12月 5日	(1)各専門部会の今年度の実施結果報告について (2)来年度の取り組みについて (3)その他
研修	平成24年11月 9日	(1)平成24年度の市町村老連リーダー研修会について (2)平成25年度の市町村老連のリーダーを対象とした研修会について
女性文化	平成24年11月15日	(1)関プロ女性リーダーセミナー報告 (2)全老連女性リーダーセミナー、女性委員会総会報告 (3)平成24年度事業の報告および反省について (4)平成25年度事業の内容について (5)その他
健康推進	平成24年 6月27日	(1)平成24年度「健康づくり推進員養成講座」について (2)その他

部会名	回次および開催日	部会内容
健康 推進	平成24年 9月13日	(1)平成24年度の「健康づくり推進員養成講座」の報告について (2)平成25年度の県老連で行う「健康づくり事業の取り組み」について (3)その他
	平成24年11月30日	(1)平成24年度の「健康づくり推進員養成講座」の報告について (2)平成25年度の「県老連が行う健康づくり事業」の企画について (3)その他
会員 加入 促進	平成24年11月16日	(1)平成24年度の取り組み状況について (2)平成25年度の計画について (3)その他
地域 ふれ あい	第2回 平成24年11月26日	(1)平成24年度の友愛活動研修会について (2)平成25年度の地域ふれあい事業推進部会の取り組みについて (3)その他

## 2 全老連関係会議

評議員会・事務局長会議・会長会議・女性委員会総会から構成

第101回評議員会	平成23年度事業報告ならびに決算等について審議
第102回評議員会	新定款(修正案)についての審議
第103回評議員会	平成24年度補正予算案ならびに平成25年度事業計画・予算案等について審議

開催日 [第101回]平成24年5月31日  
[第102回]平成24年12月7日  
[第103回]平成25年3月5日

参加者 大野一伊(県老連会長)  
高橋誠(県老連事務局長) ※[第102回]大野県老連会長の代理として出席

第1回事務局長会議	会員加入増、老人クラブ活性化の取り組みを中心としながら、今後に向けて検討・協議
第2回事務局長会議	平成25年度に向けた全老連事業計画・予算をはじめ、重要な課題等について検討・協議

開催日 [第1回]平成24年6月21日から平成24年6月22日  
[第2回]平成25年2月13日

参加者 高橋誠(県老連事務局長)

---

## 会長会議

創立50周年を契機とし、半世紀にわたる様々な活動の成果を踏まえ、豊かで活力あるこれからの「新たな絆社会」の創造をめざした取り組みの推進と老人クラブの組織強化を図ることを目的として開催

---

開催日 平成24年12月6日から平成24年12月7日

参加者 高橋誠(県老連事務局長)―大野県老連会長の代理として出席

---

第39回女性委員会総会 平成23年度事業報告ならびに役員改選について

第40回女性委員会総会 平成25年度事業計画(案)について

---

開催日 [第39回]平成24年5月22日

[第40回]平成24年11月9日

参加者 加藤幸子(県老連女性文化部会委員長・県老連副会長)

---

3 関プロ関係会議 事務局長会議・会長事務局長会議・連絡協議会から構成

---

---

## 関プロ事務局長会議

関プロ各老連事務局長が一堂に会して相互の連絡調整・情報交換ならびに研究協議を行い、老人クラブ連合会の運営に資するとともに高齢者福祉の増進に寄与することを目的とする

---

[第1回]

開催日 平成24年4月19日

会場 東京都健康プラザハイジア(東京都新宿区)

参加者 高橋誠(県老連事務局長)

[第2回]

開催日 平成24年11月15日から平成24年11月16日

会場 川崎日航ホテル(神奈川県川崎市)

参加者 高橋誠(県老連事務局長)

---

## 関プロ会長・事務局長会議

前年度の事業報告・収支決算、現年度の事業計画(案)・収支予算(案)、関プロリーダー研修会、関プロ会長表彰を審議するために開催

---

開催日 平成24年5月17日

会場 全国社会福祉協議会(東京都千代田区)

参加者 高橋誠(県老連事務局長)

[平成24年度は新潟県にて開催]

開催日 平成24年10月25日から平成24年10月26日

会場 ホテル飛鳥

参加者 大野一伊(県老連会長)  
川崎悌吉(県老連副会長)  
櫻井弘志(県老連副会長)  
加藤幸子(県老連副会長)  
高橋誠(県老連事務局長)

内容 [1日目]会議

[2日目]視察研修(寺泊魚市場、弥彦神社、洋食器センター「キタロー」を視察)

---

I 講座セミナー・育成

④地域ふれあい・社会活動推進事業

---

---

1 友愛活動研修会

友愛活動を推進するために必要な知識・技術の習得を図るとともに、会員相互の情報を交換することによって活動を活性化し、人間性に富んだ地域社会づくりに寄与することを目的とする

---

開催日 平成24年10月31日(十日町会場)、平成24年11月6日(新潟会場)

会場 サンクロス十日町(十日町会場)、新潟ユニゾンプラザ(新潟会場)

参加者 74名(十日町会場43名、新潟会場31名)

研修内容 (1)報告(友愛活動アンケート実施内容報告)  
(2)事例発表(サロン活動、友愛訪問活動、地域見守り活動から各1事例ずつ)  
・上越市老連いきいきクラブ会長 秋山克  
・見附市老連副会長(石地町天寿会会長) 佐野佐平治  
・十日町市老連北鑑坂鶴仙会会長 太田享  
・加茂市老連禄寿会会長 竹川正義  
・燕市吉田地区老連副会長 塚野文男  
・弥彦村老連理事(寿会会長) 田辺澄子  
(3)分科会(交流会)  
(4)意見交換



---

## 2 地震災害等支援活動

東日本大震災および長野県北部地震の被災者に対する支援を実施

---

---

### 県老連による“市町村老連女性代表者1泊研修会”

---

開催日 平成24年9月3日から平成24年9月4日  
会場 ホテルリステル猪苗代(福島県耶麻郡猪苗代町)  
参加者 51名(新潟県老連34名、福島県老連17名)  
研修内容 [1日目]  
(1)講義①「被災地の現状について」 福島県老連事務局長 齋藤千恵子  
(2)講義②「被災地の現状について」 双葉郡老連女性部長 東海林雅子  
(3)レクリエーション  
[2日目]  
(4)情報交換(福島県老連女性部を交えて)

---

### 市町村老連による“地震災害等支援活動”

---

---

#### 村上地域老連(村上支部老連)

---

開催日 平成24年6月2日  
会場 福島県田村郡三春町の仮設住宅  
参加者 38名(村上支部老連15名、葛尾村老人クラブ23名)  
活動内容 茶話会や笹団子づくりを行うことで、交流をはかり友情の絆を深めた。

---

#### 三条市老連(熟年いこいの会)

---

開催日 平成24年6月20日  
会場 三条市勤労青少年ホーム「ソレイユ三条」、弥彦グランドホテル  
参加者 47名(熟年いこいの会30名、南相馬市ソレイユ会15名、国定三条市長他1名)  
活動内容 東日本大震災の発災により、平成23年3月17日、ソレイユ三条に避難してきた福島県南相馬市小高地区の高齢者グループ「ソレイユ会」と交流をはかり、これまでの親睦をさらに深めた。

---

#### 長岡市老連(長岡支部)

---

開催日 平成24年7月4日から平成24年7月5日  
会場 福島県いわき市の高久第10応急仮設避難所ほか

参加者 60名  
活動内容 檜葉町老連を訪問して、支援米として「長岡産こしひかり」を贈呈・交流後、福島県応援の意味を込めて、同地にて1泊2日の会員親睦旅行を行った。

---

#### 村上地域老連（神林地区協議会）

---

開催日 平成24年9月11日  
会場 福島県郡山市の富岡町富田仮設住宅  
参加者 32名（女性部29名、参与2名、事務局1名）  
活動内容 女性部が仮設住宅を訪問、土産贈呈・演芸披露・昼食懇談会を開催するなどの交流をはかり親睦を深めた。

---

#### 柏崎市老連

---

開催日 平成24年10月4日から平成24年10月5日  
会場 福島県南相馬市の応急仮設住宅、南相馬市役所ほか  
参加者 10名  
活動内容 仮設住宅を訪問して、支援米「越路早生」・米菓「網代焼き」を贈呈するとともに、交流を通じて親睦を深めた。翌10月5日には、桜井勝延南相馬市長と面会、会田洋柏崎市長から託されたメッセージを伝達した。

---

#### 上越市老連

---

開催日 平成24年11月5日から平成24年11月6日  
会場 福島県南相馬市の鹿島区仮設住宅  
参加者 28名  
活動内容 福島県二本松市の菊人形展を鑑賞したのち、飯坂温泉宿泊、翌11月6日に仮設住宅自主サロンと交流会を開催し、慰問品（コシヒカリ・味噌）を贈呈した。

---

### 3 老人クラブー齊奉仕の日

日常的に行われている奉仕活動について、年1回、統一して実施し、県民からの敬老、敬愛に応えるとともに、老人クラブの社会的活動の発展につなげる

---

#### 概 況

---

#### (1)参加クラブ数および参加会員数

参加クラブ数	1,240 クラブ	県内2,187クラブのうち、56.7%が参加
参加会員数	50,483 名	県内会員122,861名のうち、41.1%が参加

(2)活動別参加クラブ数および会員数(複数回答)

実施内容		クラブ数	会員数
ア 地域社会への奉仕活動	(ア)清掃美化	956	23,195
	(イ)廃品回収	174	2,485
	(ウ)花壇づくり・緑化活動	296	5,508
	(エ)地域行事への参加・協力	345	7,088
	(オ)その他の奉仕活動	184	2,463
イ 友愛活動	(ア)在宅老人への訪問	243	1,943
	(イ)施設への訪問・慰問	97	1,206
	(ウ)その他の友愛活動	97	2,027
ウ 生産活動	(ア)農作物の生産・収穫	28	428
	(イ)手工芸・遊具の製作	29	258
	(ウ)その他の生産活動	17	276
エ 伝承活動		50	812
オ その他の活動(交通安全・募金など)		397	10,834

重点地区

- (1)実施老連 村上地域老連神林地区協議会(会長 川崎悌吉)  
(2)実施日 平成24年9月25日  
(3)場所 お幕場森林公園(村上市)  
(4)内容 松葉かき、草刈り、草取り、遊歩道の清掃  
(5)参加人数 31単位クラブ、108名  
(6)広報 平成24年9月25日のNHK新潟ニュースで活動の様子を放送

I 講座セミナー・育成

⑤健康づくり・予防活動事業

1 健康づくり委員会

「市町村老連が行う健康づくり事業」の円滑な推進と事業の活用促進に資するため、「健康づくり委員会」を設置し、人材育成の研修および健康づくりについての啓発普及を行う

開催日 平成24年6月27日

会場 新潟ユニゾンプラザ

委員構成 [行政]須貝孝新潟県福祉保健部国保・福祉指導課長、小林敬新潟県福祉保健部高齢福祉保健課長、小山歌子新潟県福祉保健部健康対策課長  
 [団体]興柁建郎新潟県医師会理事、佐藤徹新潟県歯科医師会常務理事、竹石秀明新潟県薬剤師会常務理事、遠藤今朝枝新潟県看護協会協会員、伊藤知子新潟県栄養士会専務理事、渡辺耕司新潟県レクリエーション協会専務理事  
 [学 界]丸田秋男新潟医療福祉大学副学長、小林量作同大学大学院教授  
 [県老連]櫻井弘志健康推進部会委員長、野口昭雄・青柳ミヅホ・川上イツ・佐々木伸彦・佐藤一義の各健康推進部会委員、高橋誠事務局長

協議内容 (1)県老連が行う健康づくり支援事業「健康づくり推進員養成講座」について  
 (平成23年度の実施状況、平成24年度の実施計画)  
 (2)その他

## 2 健康づくり推進員養成講座 高齢者の健康づくりに寄与する人材育成を図る

参加資格 市町村老連から推薦された70歳までの男女の会員(役員に関係なく)  
 ※健康づくりに関心があり、地元で活躍できる人

参加者 14名

開催状況	回次	開催日・会場・講師等
	第1回	(1)開催日 平成24年9月24日 (2)会 場 新潟ユニゾンプラザ (3)講師等 ・新潟医療福祉大学副学長 丸田秋男 ・新潟県福祉保健部健康対策課課長補佐 永瀬吉彦 (4)その他 グループ協議①
	第2回	(1)開催日 平成24年10月15日 (2)会 場 新潟ユニゾンプラザ (3)講師等 ・新潟県歯科保健協会歯科衛生士 長部麻未 ・新潟県薬剤師会薬事衛生指導員 山岸美恵子 ・新潟県医師会理事 高木顯
	第3回	(1)開催日 平成24年10月29日 (2)会 場 新潟ユニゾンプラザ

第3回	(3)講師等 ・日本赤十字社新潟県支部救急法指導員 川島裕子 ・新潟県栄養士会管理栄養士 山川琴栄 (4)その他 グループ協議②
第4回	(1)開催日 平成24年11月19日 (2)会 場 メイワサンピア (3)講師等 ・新潟医療福祉大学大学院教授 小林量作 ・佐渡市赤泊地区老連 佐々木伸彦(事例発表) (4)その他 グループ協議③
第5回	(1)開催日 平成24年11月20日 (2)会 場 メイワサンピア (3)講師等 新潟県レクリエーション協会専務理事 渡辺耕司 (4)その他 グループ発表 (5)修了式 (講評)新潟医療福祉大学副学長 丸田秋男 ※大野県老連会長より修了者に認定書授与

### 3 みずほ教育福祉財団助成事業

高齢者の元気活動支援事業として、みずほ教育福祉財団

#### 「チャレンジ！地域の元気づくり事業」

から全老連に対して助成

#### 村上地域老連（神林地区協議会）

事業名 地域活性化のための健康づくりゲートボール推進事業

参加者 35名

事業成果  
・老人クラブ新規会員5名獲得  
・練習日が増えたことにより、技術の向上をはじめ、健康の増進はもとより、参加者同士との会話で心の健康に役立つと思われる成果を挙げた。

#### 佐渡市老連

事業名 高齢者元気はつらつ推進事業

参加者 606人

事業成果  
・老人クラブ新規会員9名獲得  
・会員同士の交流ならびに意見交換などコミュニケーションができ、また、健康増進や世代間交流によって生きがい活動や仲間づくりにつながる成果も挙げた。

## II 調査資料収集

### 1 老人クラブ数・会員数調

県老連全体のクラブ数・会員数を把握するとともに、全老連にも報告

前年比153クラブ、9,405名減となり、平成7年から18年連続して減少となった。  
なお、ピーク時の老人クラブ数・会員数・加入率は、3,950クラブ(平成2年)・272,614名(平成6年)・67.0%(昭和52年)であった。

		平成23年4月1日	平成24年4月1日	増減
新潟県老連	クラブ数	2,340 クラブ	2,187 クラブ	-153 クラブ
	会員数	132,266 名	122,861 名	-9,405 名
(参考) 新潟市老連	クラブ数	540 クラブ	500 クラブ	-40 クラブ
	会員数	37,671 名	34,593 名	-3,078 名
新潟県全体	クラブ数	2,880 クラブ	2,687 クラブ	-193 クラブ
	会員数	169,937 名	157,454 名	-12,483 名
	加入率	20.7 %	18.9 %	-1.8 %

### 2 会員加入促進推進運動—プラス5人作戦—

平成13年度に実施要領を作成、「プラス5人作戦」と名付け、全県で加入促進の取り組みを行っている

顕彰対象	(1)「5人増達成」	平成24年4月1日現在の会員数が、前年同日より5人以上増加した単位老人クラブ。
	(2)「新規・復活」	平成23年4月1日から平成24年3月31日の間に、新規発足または復活した単位老人クラブ。
	(3)「新規3人増」	会員加入推進月間(平成24年9月)中に、新規会員3人加入を達成した単位老人クラブ。
達成クラブ数	(1)「5人増達成」	181クラブ(前年173クラブ)
	(2)「新規・復活」	15クラブ(前年16クラブ)
	(3)「新規3人増」	75クラブ(前年73クラブ)
助成金	(1)「新規・復活」	総額99,900円、1クラブあたり6,660円を助成
	(2)「新規3人増」	総額299,970円、1人あたり900円を助成

### 3 活動資料の収集

市町村老連の活動状況を収集することで、県全体の老人クラブの事業動向を把握する

提出された市町村(地区・区・支部)老連の「事業計画・予算書」等から調査し、必要に応じて資料提供を行った。

### 4 啓発・広報事業

県老連では、昭和41年5月1日に「県老連だより」第1号を1,500部発行して以来、今日までに通算第111号を発行、老人クラブ活動の啓発・広報に努めている

会報の発行 (1)発行回数 2回(平成24年7月と平成25年1月)  
(2)発行部数 第110号・第111号ともに各4,000部  
(3)特集等 「老人クラブは地域をつなぐ」をテーマに、星野県社協会長と大野県老連会長の対談を掲載(第111号)

編集委員会 平成24年度は「県老連だより」編集委員会を下表のとおり開催した。

平成24年	4月13日、6月4日、8月28日、11月2日、12月4日(写真)、12月5日(トピックス)、12月20日
平成25年	1月18日、3月7日

## Ⅲ 助成(応募型)

### 老人クラブ活動促進対策事業

市町村老連が行う事業に対して助成することで、事業の円滑な運営と促進を図り、以って市町村老連の発展に寄与することを目的とする

対象事業 老人福祉大会開催事業、老人クラブリーダー研修会開催事業、女性リーダー研修会開催事業、活動別リーダー研修会開催事業、老人スポーツ大会開催事業、老人作品展開催事業、老人囲碁将棋大会開催事業、老人の主張大会開催事業、緑と花の広場づくり地区指定事業

助成額	老連名	助成額	老連名	助成額
	新発田市老連	52,000円	燕市老連	55,000円
	村上地域老連	97,000円	阿賀町老連	17,000円

老連名	限度額	老連名	限度額
長岡市老連	213,000円	出雲崎町老連	6,000円
三条市老連	53,000円	湯沢町老連	6,000円
柏崎市老連	61,000円	津南町老連	15,000円
小千谷市老連	53,000円	刈羽村老連	10,000円
加茂市老連	17,000円	上越市老連	235,000円
十日町市老連	79,000円	糸魚川地区老連	26,000円
見附市老連	32,000円	能生地区老連	12,000円
魚沼市老連	63,000円	青海地区老連	9,000円
南魚沼市老連	84,000円	妙高市老連	28,000円
田上町老連	11,000円		

## IV 表彰コンクール

### 1 第48回新潟県老人福祉大会

高齢者が互いに支えあい、励ましあいながら生きがいを持って健やかで充実した生活を営むことを目指して開催

開催日 平成24年10月19日

会場 シティホールプラザ「アオーレ長岡」

参加者 1,000名

大会内容 (1)表彰 県老連会長表彰

- ・老人クラブ功労者 31名
- ・優良老人クラブ 10クラブ
- ・永年勤続職員 1名

全老連活動賞

- ・健康づくり活動部門 1クラブ
- ・仲間づくり活動部門 1クラブ

(2)慶 祝 金婚夫婦代表に花束贈呈

(3)来賓祝辞 泉田裕彦新潟県知事、森民夫長岡市長、青年代表(男女各1名)

(4)大会宣言



(5)講 演 演題 「越後長岡藩の歴史について」  
講師 牧野忠昌(長岡藩牧野家第17代当主、長岡市立科学博  
物館名誉館長)

2 金婚色紙 金婚を迎えられた老人クラブ会員の夫婦に、知事揮ごうによる色紙を複製し、贈呈する

贈呈組数 1,844組

## V 競技会

第41回新潟県老人囲碁・将棋大会 成績上位者は、ねんりんピックに参加

開催日 平成24年11月14日  
会場 高齢者センターしなの  
参加者 38名(囲碁大会20名、将棋大会18名)  
大会結果

大会名	優勝	準優勝	第3位
囲碁大会	細谷好文 (上越市)	長谷川元夫 (三条市)	渡部盛夫 (魚沼市)
将棋大会	高橋要一 (田上町)	矢沢栄一 (長岡市)	原喜八 (佐渡市)

## VI 共通

1 啓発広報事業(会員徽章の斡旋)

全老連会員徽章(バッジ)は、会員一人一人の意欲とクラブの誇りを示すシンボルであり、県老連としても、引き続き普及活動を実施する

斡旋実績 97個(会員徽章48個、50周年記念会員徽章49個)

## 2 老人クラブ関連の予算対策等

老人クラブ関係予算は、厚生労働省老健局ならびに新潟県福祉保健部が所管している

### 国家予算関係事項

「高齢者地域福祉推進事業」として位置づけられている老人クラブ関係予算は、平成25年度においては27億6000万円と、平成24年度と同額が確保された。

#### 平成25年度 老人クラブ関係予算の概要

	(単位:千円)	
	平成24年度	平成25年度
高齢者地域福祉推進事業	2,760,000	→ 2,760,000
(1) 老人クラブに対する助成		
(2) 市町村老人クラブ連合会に対する助成		
① 活動促進事業		
② 健康づくり・介護予防支援事業		
③ 地域支え合い事業		
④ 若手高齢者組織化・活動支援事業		
⑤ 市町村老連活動支援体制強化事業		
(3) 都道府県・指定都市老人クラブ連合会に対する助成		
① 老人クラブ等活動推進事業		
② 健康づくり・介護予防支援事業		
③ 地域支え合い事業		
④ 若手高齢者組織化・活動支援事業		
(4) その他、高齢者の生きがいと健康づくりに資するとともに社会参加の促進を目的とする等、都道府県・指定都市老連が行う事業として適当と認められる事業		

### 県予算関係要望事項

ア 平成24年9月28日付で、自由民主党新潟県支部連合会の帆苅謙治幹事長および早川吉秀政務調査会長あてに「平成25年度新潟県高齢者福祉対策等関連予算要望書」を提出した。

イ 平成24年9月28日付で、泉田裕彦新潟県知事あてに「平成25年度新潟県高齢者福祉対策等関連予算要望書」を提出、同日若月道秀新潟県福祉保健部長に説明した。

## 平成25年度新潟県高齢者福祉対策等関連予算要望書

昭和38年に制定された老人福祉法に基づき、老人クラブが全国的に組織されて以来、国や県のご支援をいただきながら今日に至っておりますことを厚く御礼申し上げます。

新潟県老人クラブ連合会は、県下、2, 187クラブ、12万2千人の会員で健康・友愛・奉仕の三大運動を展開し多様な老人クラブ活動を積極的に推進しています。

特に高齢化が進む新潟県においては、「健康づくりの担い手」や「地域での情報伝達のパイプ役」など、高齢者が健康で生きがいを持って暮らせる環境づくりに、老人クラブの存在は地域では欠かせないものとなっています。

このようなクラブ活動をご理解いただき、現行制度の継続を前提として、下記事項を要望いたしますので、何分のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

### 記

#### I 予算関係要望

- 1 老人クラブの会員数の減少傾向は変わらないが、健康づくりや地域の見守り活動等事業効果を上げていることから、「老人クラブ事業補助金(現行額:55, 942千円)」と「市町村老人クラブ連合会事業補助金(現行額:1, 058千円)」を維持すること。
- 2 県老連に対する「老人クラブ等活動推進員設置事業補助金」は人件費補助であるので現行額(4, 018千円)を確保すること。
- 3 高齢者孤立・無縁化防止事業を継続すること。
- 4 さらなる高齢化社会を迎え「地域の絆」が問われている中、県主導により地域の関係機関のネットワークを構築すること。

#### II 制度関係要望

- 1 介護サービスの確保・向上(施設の充実と介護人材の確保)
- 2 老人に対する生きがいと健康づくり及び安全・安心な地域づくり対策の充実を図ること。

平成24年9月28日

一般財団法人 新潟県老人クラブ連合会  
会長 大野 一 伊  
(会長印)

新潟県知事 泉田裕彦 様

# 法人会計の部

## I 正副会長会議

事業実施の詳細について、県老連事務局と調整を図る(会場・新潟ユニゾンプラザ。ただし、第1回正副会長会議のみ「まちなかキャンパス長岡」にて開催)

回次	開催日	議 題
第1回	平成24年 4月23日	(1)専門部会等委員の選任について、(2)その他
第2回	平成24年 5月15日	(1)理事会、評議員会について、(2)専門部会等について、(3)その他
第3回	平成24年 7月13日	(1)専門部会等合同会議報告について、(2)県老連50周年記念事業について、(3)その他
第4回	平成24年 9月 7日	(1)当面の課題について、(2)県老連50周年記念事業について、(3)その他
第5回	平成24年10月15日	(1)県への予算要望について、(2)その他
第6回	平成24年12月 5日	(1)来年度の取り組みについて、(2)市町村老連会長・事務担当者会議について、(3)その他
第7回	平成25年 1月22日	(1)平成25年度予算について、(2)その他
第8回	平成25年 2月28日	(1)平成25年度予算について、(2)その他
第9回	平成25年 3月15日	(1)平成25年度予算について、(2)その他

## II 理事会

本会定款の第26条から第30条に基づき招集・議案を決議(会場・新潟会館)

回次	開催日	議 案
第1回	平成24年 5月24日	第1号議案 平成23年度事業の実施状況について 第2号議案 平成23年度収支決算について 第3号議案 賛助金の額の改定について
第2回	平成25年 3月29日	第1号議案 平成25年度事業計画(案)について 第2号議案 平成25年度収支予算(案)について 第3号議案 規程等の改正について 第4号議案 平成25年度の評議員会の開催について

### Ⅲ 評議員会

本会定款の第13条から第18条に基づき招集・議案を決議(会場・新潟会館)

回次	開催日	議案
第1回	平成24年 5月24日	第1号議案 平成23年度事業の実施状況について 第2号議案 平成23年度収支決算について 第3号議案 賛助金の額の改定について
第2回	平成25年 3月29日	第1号議案 平成25年度事業計画(案)について 第2号議案 平成25年度収支予算(案)について 第3号議案 規程等の改正について 第4号議案 役員解任について

### Ⅳ 監事会

本会定款の第22条に基づき、監事は監査の権限を有する(会場・新潟ユニゾンプラザ)

開催日	監査事項
平成24年 5月 7日	(1)平成23年度事業実施状況(案)について (2)平成23年度決算書(案)について (3)平成23年度新潟県老人クラブ交友会の事業実施状況および決算書(案)について (4)その他

# 共益事業等会計の部

## I 旅行事業“会員研修旅行（ゆとり）”

老人クラブの会員を対象に、新潟交通・越後交通・頸城自動車の交通3社は旅行プランを提供している

### 1 年度別・地区別参加状況

年 度	地 区			計
	上 越	中 越	下 越	
平成15	2,666名	2,200名	13,977名	18,843名
平成16	1,981名	2,831名	11,259名	16,071名
平成17	1,220名	2,410名	9,912名	13,542名
平成18	1,360名	2,820名	10,512名	14,692名
平成19	1,169名	1,868名	9,272名	12,309名
平成20	921名	2,158名	5,223名	8,302名
平成21	934名	1,494名	3,325名	5,753名
平成22	726名	1,619名	3,491名	5,836名
平成23	584名	1,933名	2,373名	4,890名
平成24	556名	1,622名	2,161名	4,339名

### 2 平成24年度県内統一コースの参加状況

	地 区			計
	上 越	中 越	下 越	
地区別	53名	0名	93名	146名
コース名別	メインスカイツリーコース	メイン台湾コース	メイン玉川温泉コース	計
	121名	0名	25名	146名

### 3 平成24年度地区別コースの参加状況

	地 区			計
	上 越	中 越	下 越	
日帰り	253名	369名	583名	1,205名
1泊2日	250名	1,223名	1,460名	2,933名
2泊3日	0名	30名	25名	55名
合計	503名	1,622名	2,068名	4,193名

---

## Ⅱ 広告事業

県老連の指定旅館事業と全老連の老人クラブ傷害保険事業から構成

---

### 県老連指定旅館

---

契約料金 1泊2日2食付 8,000円(サービス料込み・税別)

指定期間 平成23年4月1日から平成26年3月31日までの3年間

指定件数	県内			県外	計
	上越地区	中越地区	下越地区		
	5	21	18	10	54

広報 旅館パンフレット「県老連 指定旅館のご案内 2012」を4,000部作成、全クラブに配布し、周知を図った。

---

### 老人クラブ傷害保険の普及

---

概要 老人クラブ活動中の事故(ケガ)に備えた補償と事故防止を主旨として、昭和62年に全国的に発足した。県老連では、クラブ活動を活発に行う上での保険として、より多くの会員が加入するように引き続き普及を働きかけたい。

歴史 昭和62年9月 老人クラブ傷害保険開始  
平成10年9月 活動中だけではなく日常生活での事故も対象とする「24時間保険」の追加  
平成11年1月 活動中の飲食による細菌性食物中毒補償開始  
平成16年7月 ケガによる全治1日の入院・通院の補償を追加

---

## Ⅲ 物資斡旋事業

老人クラブ活動に使用されるスポーツ用具・事務等冊子を斡旋

---

- (1) 全社協印刷の老人クラブ手帳、活動日誌・会計簿等の斡旋
- (2) 輪投げ等のニュースポーツ用具の斡旋
- (3) 「みんなで歌う愛唱歌集」の発行